

おおいたみのりフェスタ 盛況



佐賀関の伊勢海老、蒲江のヒオウギガイ、下入津のブリかま などなど（マ7頁に記念写真を掲載）

19日(土)と20日(日)の両日、別府公園で県農林水産祭があった。水産部門を合同で開催するようになって4年目。本降りの雨となつてしまった初日の午後以外は客足、売上ともに良好で、水産コーナーもしっかり定着した感がある。

JF大分

水産おおいた

2024年
11月

171号

発行元
大分県漁協
<http://www.if-oita.or.jp/>


かぼすブリ 旬入り！



県産養魚を代表するブランド「かぼすブリ」が今年も出荷時期を迎えた。「おおいた県産魚の日」運営委員会の山上誠二会長(大分魚市社長)は1日の早朝、大分市公設地方卸売市場で旬入宣言式を行った。

県農林水産部の瀧野勇部長の祝辞に続き、県漁協の中根組合長が旬入りを宣言。ほどよく脂が乗り、味よし、香りよし、見た目よしの三拍子そろった「かぼすブリ」の益々の利用を呼びかけ、市場関係者に刺身を振る舞った。

今年度は4業者が「かぼすブリ」を生産し、3月末までに約14万尾、635トンを出荷する計画。関東を中心に知名度も高まり、約7割が県外に出荷される予定。



開会式で挨拶する中根組合長

開会式で中根組合長は「海水が使えないハンディはあるが、県内各地の特産魚介類を取り揃えたので水産コーナーを宜しく願います。いよいよ来月には全国豊かな海づくり大会、おんせん県おおいた大会、おんせん県おきた大会、中津市の小祝漁港や大分駅周辺では、どなたでも参加できるイベントが行われるので、こちらも是非ご参加下さい」とPRに務めた。



2 面

漁業士ら参集



3 面

漁港漁場大会



4 面

第7回理事会

運営委等研修

5 面

水研だより



6 面

美人で食育



8 面

10月辞令交付

「漁協とともに漁業者の 経営をどう充実させるか」

県水産業の発展に向け意見交換

県下一斉休漁日となる第2土曜日の12日、別府市のホテルで「県水産業の発展に向けた意見交換会」が開催され、漁業士や漁業学校生ら約50名が参加した。本店からも中根組合長をはじめ幹部職員が出席した。



まず、特別顧問の鳥居享司鹿児島大学准教授が趣旨を説明した。

【趣旨】

県が策定した新たな大分県農林水産振興計画の基本目標は、自ら考え動き・みんなで実現する元気な農林水産業。①人作り、②魚類養殖の進展、③漁船漁業の進展、④魚食拡大と販路開拓の構成となつて、担い手育成や経営拡大に取組んでいくこととしている。一方、世界では人口増加を背景に食料の奪い合いが激化し、食料の需給バランスが悪化。水産物においても輸入に頼らない食料生産、確保が重要。生産、流通、販売の取組において漁協が中心的な役割を果たす。また、漁協の経営者でもある漁業者がどう貢献していくか、意見交換会を通じて議論を深めてほしい。



特別顧問

鳥居享司准教授

続いて、東京海洋大学教授の工藤貴史氏が「地域漁業のマネジメント」持続可能な漁業経営の構築に向けて」と題して講演した。

【講演】

1 漁業経営の特質と基本課題
漁業の所得を増やすには漁獲量（生産量）を増やし、経費を減らすこと。
2 漁業経営の展望と発展方向
漁業種類によっては生産性の高いものとするではないものがある。漁業権や許可範囲により操業範囲が制限されている。生産性の低い漁業種類は釣り、小型底びき、小型定置網などで、これだけでは限界がある。経営体が減つて、他の経営体が埋めるという単純なことではない。
3 地域漁業のマネジメント
漁場利用の調整の可能性、複合経営、協業化や分業化の事例を示し、生産性の低い漁業種類でも所得向上が図られる。例えば、①震災後の宮城県では、ワカメ養殖を就業形態（親子か夫婦か将来後継者がいるか）により点数をつけ、将来の担い手育成するものに優先を持たせている。②北海道では特定の漁業（ほっきがい漁業、うに漁業など）は、操



講師

工藤貴史教授



大分県漁協
新川哲浩参事

業する人に制限を持たせ、資源の持続可能な構築も見据えて取組む。③新規漁業就業者の収入安定のため、これまで認めていなかった素潜り漁を解禁。ベテラン漁業者の柔軟な対応。④協業化や分業化の動き。漁協の共同利用施設の資本提供により、個人では限界がある操業や販売を可能にする。

4 持続可能な漁業経営の構築

漁協は漁業者の集団であり、漁場管理、共同利用施設の整備などにより、漁業者の生産性アップの課題となる漁場の制限、取組の制限をフオーロすることで、地域全体の漁業の生産量向上に繋げる。浜フランクは5年間計画で所得10%アップを目標としている。経営体数や就業者は今後減少していくが、漁場利用制度を見直し、個別の生産力をおけることで総合的な生産アップにつなげていくことが重要。

次いで、県漁協の新川参事が「大分県漁協の取り組み」を紹介し、組合員は漁協の一員であり、利用者であり、運営者である。一体となつて考えてほしい。基本方針は、販売事業の強化、経営基盤の強化、利用率の向上を図っていく旨説明し、グループ討論を行った。

グループ討論では、漁協に取組んでほしいこと、逆に漁業者が取組まないといけないことなど様々な意見が出たが、このような意見交換を重ねることで、漁業の課題が明確になりそうだと。



グループ討論にも熱がこもる

最後に、鳥居特別顧問が次のように討論をまとめた。

【まとめ】

議論が様々あったが、大きなポイントにわけることができる。

①漁業者も漁協も人手不足、②販売（購買）事業の促進、情報発信、③加工や流通の取組、④多様な人材活用（外国人、女性の活躍）、⑤制度見直し（漁場利用の調整、漁業権のこと）

地域の漁業経営や経済を支えていくために、それぞれの視点があつて取組があり、いろいろと意見はあるが、いくつか体系づけることができる。来年以降も、これらの意見からテーマを絞って議論を深めていくことができるのではないかと。

全国漁港漁場大会に参加

全国漁港漁場協会（高吉晋吾会長）主催の第73回全国漁港漁場大会が24日、東京国際フォーラムで開催された。全国の関係者約1300名が参集し、本県協会からは役職員8名が出席した。



大会では、令和7年度漁港・漁場・漁村・海岸整備予算の確保に関する件が付議され、各地の事例を踏まえ、①漁港機能の再編・強化と養殖拠点の形成による水産業の成長産業化、②海洋環境の変化に対応した漁場整備や藻場の保全による生産力の強化、③漁港・漁村・海岸の強靱化と長寿命化による安全・安心の確保及び④海業の全国展開の推進による水産業と漁村の持続的な発展の4項目の提言が採択された。

県漁協事務局の新体制がスタート
～県漁港漁場協会が定時総会～

藤本昭夫会長

9月5日、県水産会館で県漁港漁場協会の令和6年度定時総会が開催された。7月に県漁協が事務を受託して初の総会であり、定款を改正し、補充役員を選任して新たな体制が発足した。

冒頭、藤本昭夫会長は「水産業や漁村は厳しい環境にあり、課題解決のため本協会も県警団体と連携を密に予算確保や政策提言に取り組む。私は11月25日の任期満了をもって姫島村長を引退するが、皆様のこ

れまでのご支援、ご協力に感謝する」と挨拶し、会員から労いの大きな拍手があった。

次いで、水産庁漁港漁場整備部防災漁村課の櫻井政和課長、大分県農林水産部の大屋寛審議監、全国漁港漁場協会の高吉



海業の推進について講演する水産庁の櫻井政和防災漁村課長

晋吾会長から祝辞をいただき、蒲江地区漁港漁場整備協力会の森崎真吾会長を議長に選出して議事に入った。

第1号議案「令和5年度事業報告及び収支決算の承認について」、第2号議案「令和5年度公益目的支出計画実施報告書について」、第3号議案「令和6年度事業計画及び収支予算（案）並びに会費（案）の承認について」、第4号議案「定款の一部変更について」、第5号議案「補充役員の選任について」及び「付帯決議」のすべてが原案のとおり承認された。

「令和6年度事業計画」では、

経費や事務の制約から全国大会は役員と事務局で対応することの説明をした。「定款の一部変更」では、この法人の事務は事務委託契約に基づき実施されるため第40条の事務局職員の任免手続き等を改正するとともに、規則及び諸規程についても受託者である県漁協の規程に基づき業務を行えるよう理事会の決議により廃止したことを説明した。「補充役員の選任」では、欠員及び人事異動

等に伴い退任する役員の後任者を選任し、総会後理事会で専務理事を選定した。役員選定については、漁協内部での意思決定プロセスを問う発言があったが、協会事務局の権能にはあたらなないことから意見として承った。最後にその他として、水産庁の櫻井課長から「海業の推進について」ご説明をいただき、活発な質疑が行われた。

役員名簿

会 長	藤 本 昭 夫	姫島村長
副 会 長	田 中 利 明	佐伯市長
〃	中 根 隆 文	大分県漁業協同組合代表理事組合長
専務理事	本 庄 新	大分県漁業協同組合専務理事
理 事	是 永 修 治	宇佐市長
〃	石 川 正 史	津久見市長
〃	田 中 浩 二	中津地区漁港漁場整備協会会長
〃	須 川 直 樹	佐賀関地区漁港漁場整備協会会長
〃	鳴 海 盛 彦	上入津地区漁港漁場整備協会会長
〃	岡 崎 都	大分県漁業協同組合女性部長
〃	大 屋 寛	大分県農林水産部審議監（水産担当）
監 事	松下光太郎	津久見地区漁港漁場整備協会会長
〃	渡 邊 満 晴	名護屋地区漁港漁場整備協会会長
参 与	山口甲一郎	大分県農林水産部漁港漁村整備課長
〃	大 塚 猛	大分県農林水産部水産振興課長

事務局長	新 川 哲 浩	大分県漁業協同組合参事
事 務 局	山 本 幹 太	大分県漁業協同組合総務部長
〃	小 西 英 俊	大分県漁業協同組合総務部経営管理課長
〃	野 田 直 美	大分県漁業協同組合総務部経営管理課職員



改正漁業法に基づく 資源管理について

地区漁業運営委員長 及び支店長研修会



講 師

水産庁資源管理部
魚谷敏紀部長

9月5日午後、県漁協の地区漁業運営委員長及び支店長研修会を開催した。研修のテーマは「改正漁業法に基づく資源管理について」で、水産庁の魚谷敏紀資源管理部長にご来県、ご講話をいただいた。

我が国の漁業生産量は長期的な減少傾向にあるが、適切な資源管理を行い水産資源を維持できていれば減少を防止・緩和できたと考えられるものが多く、漁獲量そのものを制限する必要がある。このため漁業法等を改正し、漁獲可能量(TAC)による管理を基本とする新たな資源管理制度を創設した。今後は、資源管理基本方針において示した基本的な考え方や方向性に基づき適切に資源管理を推進し、令和12年度までに漁業生産量(養殖及び藻類の生産量を除く。)を444万トンまで回復させることを目標とする。

以上の資源管理の意義・背景を踏まえ、資源管理に関する基本的な考え方が示された。その

内容は、「資源調査及び資源評価」、「資源管理の目標」、「資源管理の手法」及び「TACによる管理」として「漁獲割当て(IQ)による管理」や「IQ以外による管理に及んだ。会場からは、チリメンの管理等に関する質疑もあつた。

終了後は佐賀関支店に移動し、愛媛県とのタチウオの資源管理や「関の一本釣」と「臼津まき網」の資源管理協定について説明し、荷捌施設の視察も行った。講話の内容の詳細は、水産庁のホームページ「資源管理の部屋」等でも確認できるので、是非ご参照下さい。



水産庁のホームページ「資源管理の部屋」

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/suisin/>

大分海区漁業調整委員会現地研修

大分海区漁業調整委員会は16日、現地研修会を開催した。コロナ禍で中止されていたもので、今期初の開催となった。

新栄丸の大入島オイスター、西南水産及びマルハニチロアクア事業所上浦の魚類養殖を船上から視察し、山忠でひじきの加工工程を見学した。

新栄丸の宮本代表



大入島の牡蠣漁場



上浦沖のマグロ養殖場



浮沈式のブリ養殖生簀



大分海区漁業調整委員候補者の推薦を決定

令和6年度 第7回理事会

29日、令和6年度の第7回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」では、准組合員への新規加入6名、譲渡加入3名及び相続加入1名について承認した。

第2号議案「大分海区漁業調整委員の推薦について」では、推薦者を決定できなかった豊前海地区の委員1名の取扱について意見が分かれた。豊予連調委に必要なとの意見もあつたが、周防灘も共通海域の操業始期の問題があり、地域バランスからも前理事会で決定した通り各海区1名は守ることとし、経験者に打診の上で決定した。

第3号議案「蒲江地区漁業運営委員の定数変更及び補欠選挙について」では、2名の辞職者に対し定数を1名減とし、1名の補欠選挙を行うこととし、選挙管理者及び選挙立会人を決定した。

協議・報告事項では、常例検査を含む今後の日程、余裕金の運用状況報告等を行った。

水 研 だ よ り

豊後水道南部海域におけるイサキ種苗の拠点放流

本県では、11月に開催される全国豊かな海づくり大会を契機として、漁船漁業の再興を図るため、海域戦略魚種増殖モデル構築事業により、これまでの手法とは異なった増殖モデルの構築を目指しています。

本事業では、増殖礁の設置など漁場環境を整備したうえで、放流適地に種苗を集約的に放流し、放流場所の周辺を一部禁漁にするなど、環境整備・種苗放流・資源管理を一体的かつ効率的に行うこととしています。

豊後水道南部海域ではこれまでイサキを対象に佐伯市内の各支店において分散型の放流を行ってきましたが、今回鶴見大島に増殖礁を整備し、拠点放流を実施しました。

当研究部では漁業公社と連携し、9月末に4万尾のイサキの稚魚(全長約7.5cm)の腹びれ抜去を行い10月4日に放流しました。今後漁獲されるイサキについて市場調査等追跡調査を実施して効果进行分析し、新たな増殖モデルが水産資源の増加に繋がるか検証します。



作業風景



標識作業



左腹びれ抜去



抜去後のイサキ



放流風景

水産研究タイムリー情報

貝毒被害を防止するためにマガキの検査を実施

10月8日 北部水産グループ 養殖環境チーム

海水温が低下してきて、マガキの出荷が近づいてきました。本県瀬戸内海域には、養殖マガキの産地(中津、国東、杵築、日出)が多数あります。安全・安心なマガキを出荷するために当グループでは、養殖場の貝毒原因プランクトン調査やマガキの安全性を判別する検査を行っています。



豊前海アサリの資源動向モニタリングを実施

10月22日 北部水産グループ 資源増殖チーム

回復が望まれる豊前海のアサリ資源について、本年秋期の現存量を把握するため、中津市～豊後高田市の10地区の干潟で10月の大潮干潮時に坪刈りによる調査を行いました。20cm四方の枠内の砂を2mm目合いのふるいにかけ、残ったサンプル内のアサリを計数、測定し、資源量を推定します。



○水産研究タイムリー情報は、大分県のHP掲載分から抜粋しました。

<https://www.pref.oita.jp/site/nourinsuisan/timelyjouhou2017-3.html>

おおいたのおさかなは魅力がいっぱい！

いただきます！

おおいたの海の幸

キャンペーン

期間 9月27日(金)～11月30日(土)

対象店舗で大分県産の水産物を買って

3,000円分相当の県産水産物セットが当たる！

期間中 9月27日(金)～11月30日(土)

県産水産物セット ①～③のいずれかが当たります。

1 鮭魚セット 2 佐賀開セット 3 新江セット

大分県には美味しくて魅力的な海の幸がいっぱい！この機会にぜひご賞味ください！

第4回 全国豊かな海づくり大会「おおいた大会」のロゴが印刷！

応募方法

- 右のシール2枚を応募専用ハガキに貼付して、必要事項をご記入の上、ポストに投函ください。(当日消印有効)
- 当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

お問合せ先 いただきます！ おおいたの海の幸キャンペーン事務局(株)大宮内
TEL 097-537-2425(9:00～17:00(土日祝除く))

対象店舗はこちら

おおいたのおさかなは魅力がいっぱい！

期間中に対象店舗で大分県産の水産物を買って、3,000円相当の県産水産物セットが当たるキャンペーンです。

この機会に、おおいたの美味しくて魅力的なお魚をぜひご賞味ください！

応募方法

対象シール2枚を応募専用はがきに貼付して、必要事項をご記入の上、ポストに投函してください。

◆応募専用はがきは、スーパー等、対象シールの商品を販売しているお店に設置しております。

◆応募期間：令和6年9/27(金)～11/30(土)
※当日消印有効

◆抽選で80名様に県産水産物セット①～③いずれかが当たります。



キャンペーン対象店舗

Aコープ、イオン、おさかなランド、コープおおいたザ・ビッグ、サンライフ、スーパーあおき、スーパーバリュー、スーパーまるや、トキハインダストリー、フレイン、マックスバリュ、マルキョウ、マルミヤストア、ゆめタウン、ゆめマート、その他

詳細は県のホームページでご確認下さい。

<https://www.pref.oita.jp/soshiki/16350/oita-uminosachi.html>

ひがた美人で食育！

職人フェスティバルに中津支店出展



6日の日曜日、中津市で第14回職人フェスティバル2024が開催された。JR中津駅、日の出町商店街から新博多町商店街を中心に職人ブースが約80ヶ所設けられ、子どもたちが職業体験に挑戦した。

県漁協の中津支店は「ひがた美人」PRと食育を目的に、牡蠣の殻むき体験とカキカレーの試食を行った。

参加した小学生からは、「名前は知っていたけど食べたことがなかった。とてもおいしかった」、「牡蠣は好きだが中津で養殖しているとは知らなかった」などの感想が聞かれ、中津干潟の特産品である「ひがた美人」に触れ、味わってもらった良い機会となった。

体験説明には、支店の職員とともに、地域おこし協力隊として「ひがた美人」の生産に携わっている小川夫妻にも参加して頂いた。



ひがた美人
日本初！干潟で作られた牡蠣
OITA NAKATSU



令和6年度 大分県農林水産祭 ～おおいた みのり フェスタ～



JFおおいた 姫島支店



JFおおいた 国見支店



JFおおいた くにさき支店



JFおおいた 佐賀関支店



JFおおいた 鶴見支店



JFおおいた 蒲江支店



JFおおいた 本店



水産コーナー大盛況!



JFおおいた 女性部・豊前海区



JFおおいた 女性部・佐賀関支部



JFおおいた 女性部・下入津支部



JFおおいた 青年部部・杵築支部



JFおおいた 青年部・日出支部



大分県立海洋科学高等学校



県漁業士連絡協議会

10月1日付け 辞令を交付

下半期を迎えた1日、異動する幹部職員に対して組合長室で辞令を交付した。

中根組合長は一人一人への期待を込めて訓示し、厳しい環境にある漁協経営の担い手として活躍を祈念した。



10月の県産魚の日は第4金曜日の25日、おさかなランドわさだ店で「つくみフェア」を開催した。
津久見市場に水揚げされた鮮魚の特価販売と、豪華景品が当たるガラポン抽選会を行った。朝獲れ鮮魚の新鮮さと買い得さに多くのお客様が集まり、大盛況となった。



「毎月第4金曜日おおいた県産魚の日」



サカナをたべれば

ウオメシ

鰻天丼

キツキテラス

目の前に広がる別府湾を一望できる絶好のロケーションで客足の絶えないキツキテラス。広い駐車場が満車になることも多い。
これまで何回か利用したが、海鮮焼も定食物もリーズナブルな価格でうまい。気に入ったのは地域特産のハモを贅沢に使った「鰻天丼」1320円也。食べ応えのある逸品だ。



編集後記

豊かな海づくり大会が目前に迫ってきた。式典のプログラムなどに使用する動画を見せてもらった。43年前の第1回大会の振り返りから今日の水産業まで。大分に移住して水産行政に携わり現在を迎えた自分の年月と重なり、とても感慨深いものがあつた。同時に、準備に奔走する若い職員さんの頑張りを頼もしく感じた。今回の大分大会を契機に、豊かな海を守り、育てるパトロンが次世代へ、さらに3巡目大会へと引き継がれることを祈念したい。

被害急増中

私も絶対大丈夫！
私の相手は詐欺じゃない...
だって、ちゃんと利益が出てるよ！
もうすぐ金になるよ！

でも... SNS型投資詐欺

SNS型ロマンス詐欺

って何？

特殊詐欺にご注意ください！

儲け話や甘い言葉に惑わされるな!!

- SNS型投資詐欺**
著名人等を名乗って信頼させ、投資アプリ等に誘導して虚偽の利益を表示し、架空の投資を勧め、金銭をだまし取る
- SNS型ロマンス詐欺**
恋愛感情や親近感を抱かせながら、投資に誘導したり、架空の事実を口実とし、金銭をだまし取る
- あなたは相手方の本当の素顔を知っていますか??
- ◆詐欺感知センサー◆
- ☐ 著名人や投資家を名乗ったネット広告をクリックした
 - ☐ トークアプリのグループに招待され、投資を勧められた
 - ☐ マッチングアプリで知り合った者から投資を勧められた
 - ☐ 投資アプリをダウンロードしたら、多額の利益が表示された
 - ☐ インターネットバンキングでの振込を指示された
 - ☐ 直接会った人に、「お金が必要」と言われた(例:旅費費用)
 - ☐ 振込先が個人名義の口座であった

被害にあわないための三箇条

- 一、SNSで知り合った人から投資を誘われたら詐欺を疑え!
- 二、投資サイトや投資先等は、検索サイトで必ずチェック!!
- 三、個人名義の口座への振込要求は要注意!!!

振り込む前に周囲の人や警察に相談することが大切!!

◆大分県の被害防止情報等を配信中◆
大分県警察本部生活安全課生活安全室南課
097-536-2131(内線3035)

この項目は県漁業管理課の要請を受け掲載しました。